

平成 19・20 年度 土木学会 複合構造委員会 第 11 回議事録(案)

1. 日 時 : 2008(平成 20)年 12 月 12 日(金) 13:00~16:15
2. 場 所 : 学校法人常翔学園 大阪センター 305 会議室
3. 出席者 : 中島委員長, 横田副委員長, 渡辺幹事長, 池田幹事, 大垣幹事, 島幹事, 杉浦幹事, 田中幹事, 西崎幹事, 古市幹事, 山口幹事, 伊藤委員, 大山幹事 (欠席者: 葛西幹事, 武知幹事, 本間幹事, 溝江幹事)

(敬称略, 計 13 名)

4. 配布資料

- 資料11-1 平成19, 20年度 土木学会複合構造委員会 第10回幹事会議事録(案)
- 資料11-2 土木学会複合構造委員会 次期委員長候補者選出に係る立候補・推薦についてのご案内
- 資料11-3 平成21年度 全国大会共通セッションテーマ申込み
- 資料11-4 欠番
- 資料11-5 公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成申請書
- 資料11-6 第4回 複合構造委員会 議事次第
- 資料11-7 複合構造標準示方書小委員会 活動報告
- 資料11-8 維持管理小委員会 活動報告
- 資料11-9 FRP複合橋梁小委員会 活動報告
- 資料11-10 FRPによる鋼および複合構造の補修・補強小委員会 活動報告
- 資料11-11 複合構造物の現状調査小委員会 活動報告
- 資料11-12 新材料による複合技術小委員会 活動報告
- 資料11-13 構造工学シリーズ9-A『鋼・コンクリート複合構造の理論と設計(1)基礎編:理論編』改訂に向けて
- 資料11-14 平成21年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書
- 資料11-15 2009年1月号からの土木学会誌「情報(会告)」の変更について
- 資料11-16 複合構造委員会 平成20年度予算執行状況
- 資料11-17 「第8回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の講演論文募集
- 資料11-18 行事開催計画書への会員特典の明示について(ご協力をお願い)

5. 議事次第

(1) 第 10 回 議事録(案)の確認 (資料 11-1)

渡辺幹事長より, 2008 年 10 月 31 日(金)に開催された第 10 回幹事会議事録(案)の確認がなされ, 一部修正の後, 承認された。修正内容は, 以下の通りである。

(12) 第 3 回 FRP 複合構造・橋梁シンポジウムについて(資料 幹 10-12)

- ・会場は土木学会の A, B 会議室とし, 控室を準備した。

↓

- ・会場は土木学会の講堂および A, B 会議室とし, 控室を準備した。

- (2) 土木学会複合構造委員会 次期委員長候補者選出に係る立候補・推薦についてのご案内(資料 11-2)
渡辺幹事長より、土木学会複合構造委員会 次期委員長候補者選出に係る立候補・推薦についての報告がなされた。

なお、「3. 選挙管理小委員会」の委員を、以下のとおり修正する。

大垣賀津雄 (幹事長) → 渡辺忠朋 (幹事長)

- (3) 平成 21 年度 全国大会共通セッション応募 (資料 11-3)

渡辺幹事長より、平成 21 年度 全国大会共通セッションテーマに“複合構造物”として申し込んだ旨の報告がなされた。

前回の幹事会において提案された第 I 部門および第 V 部門の複合構造に関連する論文を共通セッションの“複合構造物”に投稿して頂くお願いを学会誌に掲載する依頼を学会側に行った。しかし、渡辺幹事長より、「検討するが、希望通りにならないかもしれない」と学会側から回答があった旨の報告がなされた。そこで、渡辺幹事長は、再度、依頼することとなった。

- (4) 土木学会賞推薦

中島委員長より、複合構造委員会の委員および顧問に、土木学会賞に複合構造委員会にて候補推薦をすべき(推薦を受けたい)案件を募集したが、推薦が無かった旨の報告がなされた。

- (5) 日韓台ジョイントセミナー (資料 11-5)

まず、2008 年 11 月 21 日(金)に『第 11 回 EASEC(East Asia-Pacific Conference on Structural Engineering and Construction)』の一環として開催された第 3 回 日韓台ジョイントセミナーについて報告がなされた。

つぎに、今回は、韓国で開催することが決まったため(詳細は未定。なお、大韓土木学会(KSCE)の全国大会(2009 年 10 月 22 日(木)～23 日(金))に併せて開催の予定)、公益信託「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成申請書を提出した旨の報告がなされた。

- (6) 2009年1月号からの土木学会誌「情報(会告)」の変更について (資料11-15)

渡辺幹事長より、2009年1月号から土木学会誌の「情報(会告)」は、ホームページと連動を図ることによって、最小限の情報を「横書きの一覧表」で掲載する旨の報告がなされた。

- (7) 平成 20 年度 予算執行状況 (資料 11-16)

渡辺幹事長より、平成20年度の親委員会、幹事会ならびに各小委員会の予算執行状況の報告がなされた。なお、幹事会および国際連携小委員会の残金は、次回幹事会(2009年2月末：鹿児島)の旅費補助などに充てることとなった。

- (8) 行事開催計画書への会員特典の明示について(ご協力をお願い)(資料 11-18)

渡辺幹事長より、行事開催計画書への会員特典の明示についての報告がなされた。

- (9) 第 4 回 委員会議事内容 (資料 11-6)

渡辺幹事長より、2009 年 1 月 22 日(木)開催の「第 4 回委員会議事内容」の説明がなされた。説明の後、意見が出され、以下のことが決定した。

- ・ 今後、複合構造委員会内に設置を予定している小委員会(例えば、複合構造ずれ止めの

統一的設計手法の調査研究小委員会、FRP 歩道橋設計指針小委員会などの設立趣意などの説明を行う。

- ・ 『第 8 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム』の開催について説明を行う。
- ・ 13 番目の議事は、「小委員会活動報告」ではなく、「小委員会成果報告」とし、“複合構造の現状調査小委員会”と“新材料による複合技術小委員会”より、15 分程度で、活動の成果、新たな問題点などについて報告をする。

(10) 重点研究課題 (資料 11-14)

渡辺幹事長より、平成 21 年度「重点研究課題(研究助成金)」申請書ならびに次回委員会までに、各委員に課題名、研究目的および研究内容の募集を行う旨の説明がなされた(申請書提出期限：2009 年 2 月 20 日(金))。なお、応募が無い場合は、幹事会として、“複合”と“維持管理”をキーワードとした内容で申請する予定である。

削除: において

削除: 1 月 22 日の委員会の前に委員に案内をするのではなかったでしょうか?

(11) 第 8 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム (資料 11-17)

中島委員長より、2009 年 11 月 5 日(木)～6 日(金)開催(予定)の『第 8 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム』の講演論文募集の説明がなされた。主な内容は、以下のとおりである。

- ・ 日本建築学会では、参加費に懇親会費を含めることが出来ないため、参加費を 10,000 円から 8,000 円とし、別途、懇親会費(3,000 円程度)を徴収する。
- ・ 講演論文集は CD のため、投稿論文のページ数に関して、偶数の規定を削除する。

なお、土木分野からの投稿数が減少するのを防ぐため、土木学会の主催行事参加申込のホームページには専用のページを作成し、申込、投稿などを行う際には、日本建築学会へリンクできるようにすることになった。

(12) 小委員会活動報告 (資料 11-7～資料 11-12)

① 複合構造標準示方書小委員会 (資料 11-7)

田中幹事より、活動状況について報告がなされ、活動計画の組織において作業部会を検討部会に修正することになった。なお、第 4 回委員会時に、2009 年 4 月に予定している標準示方書の外部照会を依頼する方のリストを提示することになった。

② 維持管理小委員会 (資料 11-8)

杉浦委員長より、活動状況について、2009 年 1 月 16 日(金)に開催される第 14 回小委員会において、最終成果の審議、今後のスケジュールの確認が行われる旨の報告がなされた。なお、可能であれば、第 4 回委員会時に、報告書(案)の回覧を行う予定である。

③ FRP 複合橋梁小委員会 (資料 11-9)

西崎幹事より、活動状況について報告がなされた。

④ FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会 (資料 11-10)

山口幹事より、活動状況について報告がなされ、活動計画の期間を平成 22 年 3 月までと修正することになった。

⑤ 複合構造物の現状調査小委員会 (資料 11-11)

伊藤小委員長より、小委員会の活動の総括および2008年8月1日(金)に行われた講習会の報告がなされた。なお、活動内容の研究成果において、「～台北で開催されたEASEC-11にて上記成果を発表」を「～台北で開催された日韓台ジョイントセミナーにて上記成果を発表」に修正を行うことになった。

⑥ 新材料による複合技術研究小委員会 (資料 11-12)

大垣幹事長より、小委員会の活動の総括および2008年8月1日(金)に行われた講習会の報告がなされた。

削除: ⑥

(13) 新小委員会の設置など (資料 11-13)

大山幹事より、構造工学シリーズ9-A『鋼・コンクリート複合構造の理論と設計(1)基礎編：理論編』改訂に向けての説明がなされた。今後、現本を加筆・修正するか、全面的に書き直すのかなどを含めて、葛西幹事、山口幹事と、さらに議論を続けることになった。

(14) その他

特になし。

(15) 第12回 幹事会

日 時：2009(平成21)年2月27日(金)～28日(土)

場 所：鹿児島

議 題：未定

以 上
(記録・文責：大山 理)